

# 研究科案内

## 研究科長あいさつ

実践的指導力と学問的素養を兼ね備えた教員

信州大学大学院教育学研究科は、教育の専門家としてのより高度な指導力の育成を図り、不登校・いじめ・学習不応答等、現在の教育現場に山積している教育問題の諸課題に適切に対応できる実践的指導力と、授業構成を自ら創意工夫できるための学問的素養を兼ね備えた教員の養成を主たる目的としています。

本研究科は、学部段階での学問的に裏付けられた教育実践研究を基盤として、より高度な研究を行う場であり、学校教育専攻と教科教育専攻の2専攻からなっています。

学校教育専攻には、教育行政学、教育社会学、教育工学、教育心理学、障害児教育などを研究する学校教育専修と、臨床心理学、カウンセリング、発達心理学などを研究する臨床心理学専修があります。臨床心理学専修は、財団法人日本臨床心理士資格認定協会から第1種指定大学院に認定されており、臨床心理士への道も開かれています。

教科教育専攻には、教科別の10専修があります。いずれの専修も、各教科の指導論・教材論といった実践的側面を持った研究領域と、これらを理論的に支える学問の研究領域で構成されています。

どちらの専攻も、それぞれの専門領域についてより深く学び、高度な理論を身につけることによって、実践的指導力と学問的素養を兼ね備えた学校教員の養成が目指せると考えています。

大学院生には、学部を卒業後ただちに進学した人と、教員を経験後に入学した現職教員がいて、両者は互いに良い刺激を与える関係になります。学部での勉学経験を踏まえてさらに高度の研究を行いたい人、学校現場でのこれまでの指導法を省察して学問的基盤を持ちたいと考えている人に、信州大学大学院教育学研究科への入学を勧めるものです。

信州大学大学院教育学研究科長

平 野 吉 直

# I 教育学研究科の目的と特色

## 1 目 的

本研究科は、人間の生成と教育に関する専門的知識・技能を授けることにより、創造性豊かな研究能力と高度な実践的指導力を有する教育研究の中核となる人材を育成するとともに、学校教員をはじめとする各種教育専門職者の再教育により、教育専門職業人の資質の向上に資することを目的としている。

## 2 特 色

1. 教育学研究科（修士課程）は2専攻12専修からなっている。

各専攻の特色は次のとおりである。

### (1) 学校教育専攻

学校教育専攻には、学校教育専修及び臨床心理学専修の2専修がある。

本専攻では、学校教育及び臨床心理に関わる専門家の養成のために、現代社会における教育問題の解決に資する臨床的・教育実践的な研究を行える研究・教育体制を整え、教育学、教育心理学、障害児教育学、幼児教育学、及び臨床心理学の各領域における最先端の研究に従事する教員が研究科の研究・教育目的の実現のための教育課程を編成している。

### (2) 教科教育専攻

本専攻には、国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、技術教育、家政教育、英語教育の10専修がある。

本専攻では、各教科の教育内容の基盤としての個別諸科学と各教科教育学の有機的な関係を中心とした研究の充実を図れるような研究・教育体制を整え、個別諸科学及び各教科教育学の各領域において最先端の研究に取り組む教員が研究科の研究・教育目的の実現のための教育課程を編成している。

2. 我が国の学校教育を含む広範な教育の諸課題について、総合的かつ多角的な視点からの独創性あふれる研究を行うとともに、今日の時代が要求している優

れた資質を持った教育の専門家を養成するための基礎科目として、「現代教育学」及び「現代教育心理学」を開設し、研究科共通の必修科目としている。

3. 教育科学及び他の個別諸科学の教育実践に関わる側面を、理論的・実践的に研究し、特に実践的側面から理論と実践との総合の仕方を究明できるように、各専修ともに「教育総論」（講義 2 単位）又は「教育実践論」（講義 2 単位）及び「授業研究」（演習 2 単位）を必修授業科目として開設している。
4. 附属小学校，中学校，特別支援学校及び幼稚園との緊密な連携のもとに，教育実践研究，特に教科教育研究の充実を図っている。
5. 入学定員の約 3 分の 1 程度を現職教員の受入れ枠として設定している。この入学生は大学院設置基準第 14 条の規定に基づく教育方法の特例が適用され，1 年次は教員の長期研修制度を活用し学業に専念し，2 年次には在職校に復帰し勤務しながら継続して教育・研究が行えるような指導体制を整えている。

## Ⅱ 教育課程等

### 1 履修方法

学生は，入学後指導教員を定め，その指導のもとに履修計画をたて，必修科目及び選択科目併せて 30 単位以上修得し，かつ指導教員の指導のもとにおいて学位論文を作成する。

### 2 授業科目及び履修基準

授業科目		専攻			
		学校教育専攻	教科教育専攻		
研究科共通授業科目		必修	4 単位	必修	4 単位
専修に関する授業科目	専修共通科目		2 単位		2 単位
	特別研究		4 単位		4 単位
	指定の授業科目				4 単位
指定以外の指導教員の指導に基づく授業科目		選択	10 単位	選択	6 単位
自由選択科目			10 単位		10 単位
計		30 単位			

### 3 教育方法の特例

本研究科は、現職教員を学生として受け入れ、大学院設置基準第14条の趣旨に基づく教育方法を実施する。

これは、派遣母体である教育委員会、学校法人等の意向を考慮し1年次のカリキュラムは、昼間時間帯に開設し、2年次のカリキュラムは、夜間あるいは特定の期間（夏季休業期間中又は冬季休業期間中等）に開設し、履修方法の便宜を図るものである。（この特例については、特別選抜試験により入学した現職教員に適用される。）

### 4 学位

所定の期間在学して、30単位以上修得し、かつ学位論文の審査並びに最終試験に合格した方には、修士（教育学）の学位が授与される。

### Ⅲ 各専攻・専修所属の教員別研究領域の内容

(平成24年度末までに定年の教員分については、掲載してありません。)

#### 学校教育専攻

##### 学校教育専修(教育学)

研究領域	研究内容の概要	教員氏名
教育哲学	教育哲学の視点から教師教育の再構成を探る。特にアメリカ・ルネサンス期の思想家 R.W. エマソンと H.D. ソローの現代的読み直しを試みる米国の哲学者 S. カベルの道徳的完成主義に内在する教師教育の理論－実践融合型研究。	高柳 充利
教師教育学	教員の養成・採用，研修の各段階において，自らがこれまでに蓄積してきた教育実践を整理し，記述することによって，成果があった点についての教育学的意義を明らかにすることをめざす。	土井 進
教育工学	e-Learning, ティーチングポートフォリオなどの教育用システム開発，マルチメディア教材の開発と実践・評価，メディアコーディネータなど，教育の情報化，ICT活用に関する研究。	東原 義訓
教育行政学	子どもの豊かな育ちを保障するために，保護者・住民・教員とで担う「地域に根ざした教育づくり・学校づくり」のあり方について，理論分析，事例調査，(国内外の)比較などの手法により研究している。	武者 一弘
教育社会学	子どもや教育にかかわる諸事象・諸現象について，その事実性に即し，社会的文脈との関連性(構造や機能)に配慮しつつ理論的，実証的に記述・解明することが研究の狙い。主な研究テーマは，学校組織の構造と機能分析，教育言説と教育実践のパラドキシカルな関係の記述，グローバリゼーションと教育，社会環境の変化と子ども，学校の事実性に基づいた教職論など。	越智 康詞
教育方法学	世界のオールタナティブ教育を事例とした学習スタイルの研究，総合学習のカリキュラムデザインに関する研究，教師の実践的指導力に関する研究を行っている。いずれも学校現場での臨床的な研究を重視している。	伏木 久始
教育実践学	教師のリフレクションを促すティーチング・ポートフォリオの活用に関する研究を中心に，実践的指導力を持った教員養成や現職教員研修に関する研究。	谷塚 光典

### 学校教育専修(教育心理学)

教育心理学・ 教育評価	①学習，言語，メタ認知，創造性の研究 ②小中学生向け「心の授業」の開発 ③教育評価，学校評価，人材評価	田中 敏
認知心理学・ 教育心理学	認知心理学を専門として，説明のわかりやすさ，動機づけなど，「説明サービス」に関する研究に主に取り組んでいる。認知心理学・教育心理学に関わるテーマであれば，相談により指導が可能である。	島田 英昭

### 学校教育専修(障害児教育学)

障害児教育学	特別支援教育の制度，教育課程を中心とした内容と，読み障害，発達性協調運動障害を対象とした研究を行っている。	永松 裕希
障害児心理学	知的障害児や自閉症児の補助代替コミュニケーション(AAC)の指導と評価を中心に，視覚支援とコミュニケーション支援に関する研究を行っている。	小島 哲也
障害児病理学	生理心理学的アプローチ(脳波・心拍など)を活用した障害児の発達評価および発達支援について，主に重症心身障害児を対象とした研究を行っている。	宮地 弘一郎

### 臨床心理学専修

臨床心理学・パーソナリティ心理学	①医療・産業分野における臨床心理学的援助サービス ②認知行動療法 ③パーソナリティ検査の研究・開発・コンピュータ化(主要5因子性格検査，MMPIと短縮版，ロールシャッハ・テスト)	村上 千恵子
教育心理学・臨床心理学	①発達障害のアセスメントと支援 ②外国語の習得 ③心理尺度，認知機能評価課題の開発	高橋 知音
臨床心理学・社会心理学	①カウンセリング(ブリーフ・セラピー，分析心理学)に関する研究 ②スクールカウンセリングに関する研究 ③協同問題解決における成員の満足感に関する研究	鈴木 俊太郎
学校心理・特別支援教育・教育相談	①教師と保護者の連携に関する研究。 ②チーム援助に関する研究。 ③ニーズの高い子どもへの援助に関する研究。	上村 恵津子

## 教科教育専攻

### 国語教育専修

研究領域	研究内容の概要	教員氏名
国語科教育学	研究テーマは国語科教育実践場面における予測不可能事象の研究, 及び国語教材における日本の基層文化概念の解明。主な著書に『対話的コミュニケーションの指導』(明治図書), 『死と豊穡の民俗文化』(吉川弘文館), 『バタフライマップ法』(東洋館出版社)等。	藤森 裕治
国語科教育学	国語科教育史研究。国語科教育の目的・内容・方法論などが形成されてきた過程についての研究を行っている。特に, 明治期から今日までの国語科教育における「古典」概念の形成・成立過程についての研究を専門としている。	八木 雄一郎
日本語学	①現代日本語に関する研究と外国人児童生徒の教育に関する研究。 ②文法(格, ヴォイス) ③語彙(語構成, 意味論) ④日中蒙語対照研究 ⑤方言	山本 清隆
日本語学	現代日本語文法。特に引用構文や提題文に関わりのある現象や叙述の類型に関する現象について考察している。	岩男 考哲
古典文学	①万葉集を中心とする古典和歌の中国文学受容の解明。 ②小中高を横断する古典学習カリキュラムの構築。 ③古典文学作品からの教材開発と教科書教材研究。	西 一夫
日本近現代文学	夏目漱石・森鷗外から横光利一などの近代文学者, および1990年代以降の現代作家まで, 幅広く研究対象とする。主に小説と文芸評論を取り上げ, 哲学思想を切り口に分析を試みている。	山本 亮介
日本語教育・日本語学・コミュニケーション	会話分析, 語用論, コミュニケーションスタイルに関する研究, 日本語教育の教授法, 教材分析, 引用研究。外国人児童生徒の日本語教育の研究。	徳井 厚子

## 社会科教育専修

研究領域	研究内容の概要	教員氏名
社会科教育学	①グローバルゼーションなど，社会の変化に対応した公民教育のあり方を研究している。とくに，経済・金融分野の教育について，米国における実践事例を分析するとともに，授業開発を行っている。 ②児童・生徒の素朴な経済理解に関する調査も，実施している。	栗原 久
日本史学	宗教史・文化史を基軸に日本史学の諸問題を考究すると共に，地域史の方法論や視角について体系的・総合的な研究を行う。	牛山 佳幸
地理学	①都市の機能・成長過程を究明する都市地理学に関する研究。 ②地域商業の現状等を探る経済地理学に関する研究。 ③高齢化社会のあり方等を探る社会地理学に関する研究。 ④近年の研究テーマは，中心市街地の活性化や地域公共交通のあり方など「まちづくり・地域づくり」に関する研究。 ⑤地理情報システム（GIS）に関する研究。	石澤 孝
自然地理学	①日本列島を中心とした東アジア地域の活構造の解明。 ②活断層など地殻変動を考慮した地形発達史研究。 ③地形と水害予測に関する研究。 ④防災情報の活用と防災教育に関する研究。	廣内 大助
法律学	①「法と権力」に関わる諸問題についての理論的研究（特に，ジェンダーやマイノリティーをめぐる正義についての研究）。 ②法教育についての研究。	関 良徳
政治学	国際関係論。ロシア政治外交史及び米ソ（ロ）関係史。	駒村 哲
経済学	金融政策を中心とした近代経済学。とくに経済の安定化する諸条件についての分析を行っている。	藤崎 聖也
文化人類学	現代世界の諸民族の諸問題について，文化人類学の観点から探究を行うとともに，超領域的，多学問的な問題群について体系的・総合的に教授・研究する。	阿久津 昌三
宗教学	インド思想史，日本思想史を中心にして人間，とりわけ日本人，のあり方，生き方について考察する。	茂木 秀淳

## 数学教育専修

研究領域	研究内容の概要	教員氏名
数学教育学	学校数学における証明，I C Tによる学習環境に関する研究。	宮崎 樹夫
数学教育学	学校数学における説明・証明に関する研究（特に，役割や機能，あるいはカリキュラムデザイン）。I C Tを活用した学習環境の構築に関する研究（特にD G S。国際的な教育開発を含む）。	茅野 公穂
数学教育学	学校数学における証明（特に action proof）に関する研究に，数学的探究に焦点を当てながら取り組んでいる。	小松 孝太郎
幾何学	部分多様体論。特に複素空間形の極小部分多様体や実超曲面の，断面曲率，リッチ曲率に関する研究。	昆 万佑子
解析数論	リーマンゼータ関数に関わる研究で，その特殊値，解析的性質，素数分布との関連などである。	松岡 樂

## 理科教育専修

研究領域	研究内容の概要	教員氏名
理科教育学	①小中高等学校の地学分野の教材開発 ②理科の授業研究・開発教育 ③長野県をフィールドにした局地気象	榊原 保志
理科教育， 臨床教科教育	小・中学校をフィールドとして，日々の理科授業で学んだり学び合ったりしている児童・生徒の具体的な発話や行動等を分析し，彼らの変容を促す授業改善に寄与できる学習臨床学的な教育研究を進めている。	三崎 隆
物性物理学	低温における物性の研究，特に，超伝導や磁性体（磁石）の研究を行なっている。具体的には，希土類金属化合物や遷移金属酸化物の電気抵抗，磁化，比熱測定等を行い，その新規な超伝導特性・磁気特性を調べている。	天谷 健一
低温物理学	極低温における物質の電子状態の実験的研究を行っている。具体的には， ①異方的超伝導体の特異な輸送現象の探索と超伝導電子対の対称性の研究。 ②低温走査トンネル顕微鏡による2次元電子系や超伝導体の局所状態密度の直接観察による研究。	神原 浩

核・放射化学	①原子核をプローブとした化学物性研究, 特に <sup>57</sup> Fe Mossbauer効果を利用した鉄の化学結合状態の研究。 ②陽電子消滅を利用した物性研究。 ③自然環境中に存在する放射性同位元素の測定および動態の研究。	村松 久和
有機物理化学, 光化学	分子集合体・複合体の光化学に関する研究, ナノサイズ有機分子集合体の蛍光特性を利用した分子集合体形成機構の解明とその光機能創出, 光機能性分子の合成および励起状態動力学の研究。	伊藤 冬樹
遺伝学, 生理学, 分子生物学, 行動学	①キイロショウジョウバエを用いた味覚・嗅覚などの感覚についての遺伝学的, 生理学的, 分子生物学的, 行動学的研究。 ②各種蛍光タンパク (GFP, Kaede, GCaMP 等) と共焦点レーザー顕微鏡を用いたライブイメージングによるキイロショウジョウバエの神経発生学的, 神経解剖学的研究。	坂口 雅彦
昆虫生態学	ショウジョウバエなど双翅目昆虫の生活史の比較及び長野県内の生息状況の変化について調査している	別府 桂
植物生態学	植物種の生活史, 植物と動物の相互作用, 植生の分布や成り立ち, 森林の更新過程, 里山等文化的植生景観の保全, 自然教育に関して, 生態学的なアプローチにより追究する。	井田 秀行
地質学・火山 灰層序学	野外調査に基づき, 層序学的手法や火山灰層の性質などを用いて, 我々が生活する大地や火山の形成史およびそのメカニズムを探究する。	竹下 欣宏

### 音楽教育専修

研究領域	研究内容の概要	教員氏名
音楽教育	①音楽科授業方法の研究。 ②日本近代音楽教育史研究。 ③「国民学校」における音楽科教育の研究。 ④民間音楽教育研究運動史研究。	中山 裕一郎
音楽教育	①音楽科におけるメディアの活用。 ②音楽科授業研究および教材研究。	齋藤 忠彦
声 楽	①児童・生徒の学齢にあわせた発声指導の研究。 ②日本歌曲・イタリア歌曲・ドイツリートの実践的研究。	池田 京子
声 楽	①オペラ・歌曲の実践研究。 ②イタリアオペラの様式と声質に関する研究。	田島 達也

器 楽	①ピアノ演奏研究。 ②演奏解釈に関する研究。 ③音楽の指導内容と方法に関する研究。	中島 卓郎
器楽・指揮	①トランペットおよび管楽器全般における奏法，指導法の研究。 ②管楽器演奏における音楽表現の研究。 ③吹奏楽・オーケストラ指揮および指導の研究。	吉田 治人
作 曲	①現代音楽の創作実践。 ②作曲理論研究。 ③創作教育研究。 ④音楽心理学研究。	小野 貴史

### 美術教育専修

研究領域	研究内容の概要	教員氏名
美術教育学	①図画工作科・美術科の目標・理念，指導と評価，題材内容・カリキュラム，教材開発。 ②絵画教育の基盤主題（描画の原理・発達，抽象類型，具象・抽象の変調機構），造形遊びと造形原理，鑑賞教育と指導メソッド（対話型/読解型/美術批評型/連続型/比較型等）。 ③エコ図工・美術とエコロジカルアート，絵画・音楽比較論。	岡田 匡史
デザイン	①デバイスを用いたインタラクションを中心とするインタフェースデザイン。 ②メディアアートの制作研究。	蛭田 直
金属工芸 (美術 casting)	①蠟型 casting による造形制作。 ②インスタレーションによる現代美術。	木村 仁
美術史・ 美術理論	西洋美術史。特に東西の美術交流史，イギリスのジャポニスム。	小野 文子
彫刻	①乾漆による彫刻制作 ②人体を中心とした造形表現研究	猪瀬 昌延

### 保健体育専修

研究領域	研究内容の概要	教員氏名
体育科教育学	①学校教育における体育授業の教授学的研究。 ②体育における学力論・目標論，教科内容論，教材構成論，授業方法論。	岩田 靖

運動学 (スポーツ運動の初心者指導)	人間学的運動学の立場から、学校体育（特に運動が苦手な子ども）の学習指導に生じる問題をすくいあげ、具体的な解決策（教材・練習課題）をつくり出すとともに、それらの方法論を理論づける。	渡辺 敏明
体育・スポーツ史	主たる研究対象は近世のわが国における武術（剣術・居合等）の技術史で、特に近世後期の剣術他流試合の活性化と剣術のスポーツ化・競技化、および日本的運動学習論についての研究。	和田 哲也
スポーツバイオメカニクス、コーチング	① 主に冬季スポーツにおける身体運動のバイオメカニクス解析およびそれらのコーチングへの適用に関する研究。 ② ジュニアおよびトップ競技者のコーチングに関する実践的研究。	結城 匡啓
脳・精神生理学	子どもの脳の変化を調査、プロセスなく結果が導き出される社会の仕組みに注目し、運動とコミュニケーションの重要性を指摘する。この要因は高齢社会にも当てはまり、現在シニア健康講座を実施・運営している。	寺沢 宏次
運動方法学	陸上競技の特に、走・跳種目の動作やトレーニング方法の分析結果をコーチングに応用すること。	三條 俊彦
人間運動学	人間の運動を、例えば言語と同じように、人間にしか現れない現象として理解し、研究する領域（人間学的運動研究）。このパラダイムを構成する鍵概念は身体性、自己運動、主体、動感（キネステーズ）、コツ、カン等。	渡邊 伸
野外教育学	野外教育活動の成果分析。特に、野外教育活動が青少年に及ぼす教育的成果に関する研究。	平野 吉直
国際学校保健	① 東南アジア（ラオス）、西アフリカ（ニジェール）の開発途上国における学校保健に関する研究 ② 健康教育および環境教育のカリキュラム開発とその実践に関する研究	友川 幸

### 技術教育専修

研究領域	研究内容の概要	教員氏名
技術科教育学 ・情報科学	① 技術科教育におけるICT教材開発、及びPICなどの新しいカリキュラム開発に関する研究。 ② LAN構築支援システム、及び授業と自学自習のための汎用学習支援システムに関する研究。 ③ 通信などの制御、音声や画像などの認識を効率よく行うための情報処理に関する研究。	西 正明

技術科教育学	技術科教育の教育実践研究として大きく2つのテーマで進めている。 ① 知的財産学習に関する教材・指導法開発 ② ロボット製作学習に関する教材・指導法開発 その他にも、情報技術やものづくり、環境教育に関する教材・指導法開発も進めている。	村松 浩幸
電気・電子工学	① 磁気効果を利用したデバイスの試作と評価 ② 計算機シミュレーションを用いたデバイスの機能解析	増子 潤
金属工学	金属材料をはじめとして、半導体材料、電気・電子材料などを含む材料の機械加工、物理化学的な超精密加工および表面処理に関するもの。	佐藤 運海

### 家政教育専修

研究領域	研究内容の概要	教員氏名
家庭科教育 家族関係学	① 家庭科教育における学力論，カリキュラム論 ② 子どものセルフ・エスティーム，生活ストレス，ウェルビーイングに関連する研究。 ③ 高齢社会に関する調査研究。	松岡 英子
家政教育学 衣生活学	小中高校家庭科「衣生活領域」の教材開発や指導内容・指導方法に関する研究。	福田 典子
食物学	① 食品の調理・加工による変化に関する研究。 ② 発酵食品における機能性向上のメカニズムに関する研究。 ③ 家庭科における食生活の教育に関する研究。	高崎 禎子
被服学	被服はヒトの個性の表現手段であるとともに、ヒトの生理機能を守り、快適に過ごすための一手段でもある。このような被服とヒトとのより良い関係を追求する。	三野 たまき
住居学	居住空間，及び住環境に関する理論・計画手法について検討し，住生活の健康や安全，快適性と関連させながら総合的に明らかにすることを通し，より良い住まいのあり方に関する研究。	山岸 明浩
家政経営学	① 学校を中心とした消費者教育の理念，内容，方法，カリキュラム開発などに関する研究。 ② 消費，環境，情報などのヒトの生活をめぐる現代的・社会的課題と生活経営に関する研究。	大原 明美

## 英語教育専修

研究領域	研究内容の概要	教員氏名
英語科教育, 第2言語習得	① インタラクションとインプットと英語の習得過程の関係, コミュニケーションにおけるフィードバックの役割, 授業における談話分析によるインプット研究。 ② スピーキング力やリスニング力の測定・評価, 小学校英語, 第2言語習得に関係する個人的要因などの研究。	酒井 英樹
異文化間コミュニケーションとその教育 国際理解教育	① 異なる文化を持つ人どうしのコミュニケーションの諸相についての研究。 ② 多様性が軋轢でなく効果的關係に繋がるための要件についての研究。 ③ 学校での異文化間コミュニケーション能力育成に関する研究。	小池 浩子
英語史, 日本語・英語の音韻論	① 1600年にわたる英語の史的発達を研究することによって, 現代英語の諸相をより深く理解する。 ② 日本語・英語の音韻過程や変化について考察する。	高橋 渉
理論言語学, 統語論と意味論が中心	① 生成文法の分析方法を用いて, 文の構造の解明や, 構文間のつながりを研究。 ② 英語, 日本語および他言語間の比較を通して, 言語の構造, 規則を考察。 ③ 統語と意味の關係に関する研究。	田中 江扶
英米文学, ポストモダン文学を通して見る行為	トマス・ピンチオンを始めとするポストモダン文学を主な題材として, 読む・解釈するという行為が前景化されていくことの研究。	金子 史彦

## IV 取得できる専修免許状の種類

本研究科において教育職員免許法に定める所要の単位数を修得すれば、下記の専修免許状の取得資格が得られます。ただし、取得には、対応する一種免許状を有していることが必要です。

専攻・専修名		専 修 免 許 状 の 種 類
学校教育専攻		小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 (国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭, 英語) 高等学校教諭専修免許状 (国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 家庭, 英語) 特別支援学校教諭専修免許状 (知的, 肢体, 病弱) (特別支援教育に関する専門教育科目を, 24 単位以上修得した場合。) 幼稚園教諭専修免許状
教 科 教 育 専 攻	国語教育	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 (国語) 高等学校教諭専修免許状 (国語) 幼稚園教諭専修免許状
	社会科教育	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 (社会) 高等学校教諭専修免許状 (地理歴史, 公民)
	数学教育	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 (数学) 高等学校教諭専修免許状 (数学) 幼稚園教諭専修免許状
	理科教育	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 (理科) 高等学校教諭専修免許状 (理科)
	音楽教育	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 (音楽) 高等学校教諭専修免許状 (音楽) 幼稚園教諭専修免許状
	美術教育	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 (美術) 高等学校教諭専修免許状 (美術) 幼稚園教諭専修免許状
	保健体育	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 (保健体育) 高等学校教諭専修免許状 (保健体育) 幼稚園教諭専修免許状
	技術教育	中学校教諭専修免許状 (技術)
	家政教育	小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状 (家庭) 高等学校教諭専修免許状 (家庭)
英語教育	中学校教諭専修免許状 (英語) 高等学校教諭専修免許状 (英語)	